

中央公民館（入間川地区センター）だより

平成26年度 第2号（通巻第43号）

狭山市入間川1-3-1

☎ 2952-2230

<http://www.city.sayama.saitama.jp>

mail:chuo-kom@city.sayama.saitama.jp

# いるまがわ

## 家族ふれあい講座

家庭教育アドバイザーin 狭山との共催事業です

### ① 家族で作ろう！簡単ランチ

手軽でおいしく、栄養たっぷりのランチを作ってみませんか！

【日時】7月28日(月)、10時～12時30分

【場所】中央公民館 調理実習室

【対象】小学生とその家族 【定員】10組《先着順》

【費用】1組につき800円（材料費）

（※1組3人以上参加の場合⇒追加材料費：子ども300円、保護者500円）

【持参品】エプロン、三角巾、ふきん

【申込み】7月17日（木）午前8時30分から費用を持って中央公民館へ

（日・祝日を除く8時30分～17時15分）☎2952-2230

※保育あり（2歳以上の未就学児。事前申込みが必要で先着9名まで）

- ・サワーライス
- ・ささみとお豆のごま和え
- ・トマトとレタスのヘルシー味噌汁
- ・キラキラかんてんを作ります



### ② あそびの広場と子ども体操

いろいろな遊びや子ども体操を、家族で楽しみましょう！

【日時】8月31日(日)、10時～12時30分（※出入り自由）

【場所】狭山市市民交流センター 1階コミュニティホール

【対象】0歳～小学生とその家族 【費用】無料 《申込みは不要です》

- バルーンアート、工作、
- ヨーヨーつり、つきみ、
- 輪投げ など（※予定）



### ◆あけぼの教室

【日時】7月6日(日)から毎月1回（日曜日）

【内容】工作、写真撮影、日帰り旅行など

【対象】療育手帳をお持ちの方

【定員】30名《先着順》

【費用】2千円（ほかに実費が必要）

### ◆つききクラブ

【日時】7月6日(日)から年6回（土、日曜日）

【内容】軽スポーツ、日帰り旅行など

【対象】療育手帳をお持ちの小・中学生 ※原則として親子参加

【定員】20名《先着順》

【費用】500円（ほかに実費が必要）

【共通事項】／申込み6月30日までに費用を持って中央公民館へ（日・祝日を除く8時30分～17時15分）☎2952-2230 ※ボランティア募集中

### さやま映像まつり

市制施行60周年を記念して、懐かしい狭山の映像をお届けします。ご期待ください！

【日時】7月24日(木)、13時30分～16時

【場所】市民交流センター1階コミュニティホール

【内容】入間川の鹿子舞い、笹井の足踊りなど（上映時間 2時間30分）

【費用】無料 《申込みは不要です》

【問合せ】中央公民館へ ☎2952-2230

### パソコン初心者講習会

【日時】7月22日(火)～25日(金)、9時15分～12時15分

【対象】市内在住の方

【定員】18名《先着順》【費用】500円

【持参品】ノートPC 【申込み】6月23日(月)、8時30分から費用を持って中央公民館へ



## 3年ぶりに狭山市民展を再開！

5月30日(金)から6月3日(火)まで、狭山市民交流センター（入間川1-3-1）で、市内在住、在学、在勤の方が制作した作品を展示する「狭山市民展」を開催しました。



「狭山市民展」は、昭和の時代から平成23年まで30回続いた恒例の展覧会でしたが、狭山市民交流センター内の再開発事業で中央公民館が市民交流センター内に移転することに伴い、中止となっていました。

今年、狭山市民が市制施行60周年を迎えることから、60周年記念事業として再び「狭山市民展」開催の機運が高まり、装いも新たに3年ぶりに再開したものです。

展示されたのは、日本画・洋画・切り絵・書・彫塑・工芸・写真の7部門に応募のあった175点の作品。期間中は、親子連れなど約1,200名の来館者で賑わいました。

1階コミュニティホールでは、水上コテージを描いた細やかな観察による自然な色彩が巧みな水彩画やアカンサスの植えてある自宅の庭を土の色まで見事に表現したカラフルで色彩感豊かな油絵などの洋画や日本画が、3階のホールでは、ムンクの叫びと題したアイデア溢れる彫刻のようなひょうたんや漆黒の夜空に大迫力の花火が咲き競う一瞬をとらえた写真などが来館者の目を楽しませていました。また、1階ロビーで行われた狭山市民茶道連盟による「茶席」では、野点傘に貼られた「柴門(さいもん)迎遠客」と書かれた詩や5月の和菓子「落とし文」にもてなされた参加者の皆さん。口の中が甘くなったところで抹茶をいただきながら、ゆったりと流れる時間を楽しんでいました。



作品の説明をする野本さん

幅40センチ長さ15メートルの布で初めて織った着物を出品した野本照子さんは、「技術的には未熟ですが、地元の武州窯で、地元の土を使って染めた（陶土染め）独特の色合いを見てもらいたい」と話していました。

また、期間中には、市民展再開にあたり、「展示だけでなく、普段あまり芸術に触れる機会の少ない方にも体験できるように」と用意された「生け花」・「茶席」・「ちりめん細工」・「織物講座」・「写真講座」のワークショップに多くの皆様が参加し、文化交流を深めました。

### 主催者で狭山市民館連絡協議会 会長（中央公民館長）のコメント

皆様のご協力で「狭山市民展」が無事再開できましたことをお礼申し上げます。この市民展が今後も文化交流の場となることを期待しています。また、狭山市民文化団体連合会の協力によりワークショップを同時開催し、市民展に花を添えることができましたことを重ねてお礼申し上げます。